



一生懸命

《学校教育目標》

「志を持ち 道を拓く生徒」

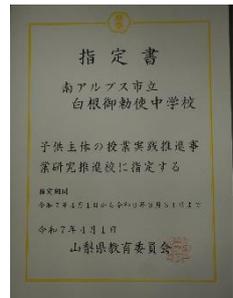
令和7年度
第2号(5月1日)

文責 校長 川野 和昭

<http://www.midai.m-alps.ed.jp/> 白根御勅使中学校ホームページにも毎月掲載します。

◆県の「子供主体の授業実践推進事業研究推進校」の指定を受けました◆

今年度と来年度、白根御勅使中学校は、山梨県指定の「子供主体の授業実践推進事業研究推進校」の指定を受けました。この指定は、今までの教員主導で知識を教え込む授業形態に代わって、子供主体での授業実践に向けた研究です。県下の中学校では、本校のみです。ICT 機器やデジタル教科書等を活用して子供主体の授業実践を目指すことで、生徒に学びの楽しさを教え、探究的な学びや教科横断的な学びを実現させるものです。御勅使中の生徒にとっても自分が調べたいことや疑問に思ったことを友達とともに学び、解決していくことで大きく成長できる機会だと考えております。総合の時間等を活用して生徒主体で様々な活動を仕組んでいきます。地域学習も取り入れる予定です。保護者の皆さまのご協力をお願いすることもあります。その折には、積極的にご協力をお願いいたします。



1年生の部活動がいよいよ始まります。

28日(月)に部集会が行われ、1年生の入部が確定し、新体制での部活動がスタートしました。すでに、26日に、硬式テニスの団体戦県大会、29日に、野球、バレーの県大会予選、吹奏楽部の5月4日のコンサートへ向けての練習、3日からの各種会へ向けてなどがあり、すでに1年生が、練習が参加していた部もあります。部活動の目的は、生徒の自主的、自発的な参加により行い、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に質する(学習指導要領)となっています。部活動を通して大きく成長してくれることと思います。バレー部が県大会へ進みます。勝ち負けはともかく、目標に向かって「一生懸命」努力する生徒たちの姿は、美しいです。



クラウドファンディングへの協力ありがとうございます。

第1号でお願いしました「楽器購入プロジェクト」ですが、この度は本校の吹奏楽部の活動にご理解をいただき、多くの方々からご寄附を頂戴しましたこと、感謝申し上げます。先日も、塩谷写真館様から多大な寄附をいただきました。現在本プロジェクトの達成額の半数以上の寄附が集まっている状況です。吹奏楽部には、今年度、11名もの1年生が入部しました。皆様の暖かいお気持ち(皆様からのご厚意)は、生徒のために使わせていただきます。6月30日まで実施しておりますので、引き続きご協力や呼びかけ等のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



コミュニティ・スクールが始まります。

今年度から、本校はコミュニティ・スクールになります。「コミュニティ・スクールって何」「今までとどこがちがうのですか」という質問をよく受けます。文部科学省 HP によると、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができますとあります。簡単に言うと、学校と地域が力を合わせ、子どもたちのより良い環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を目指すための仕組みです。学校と保護者・地域との距離を今まで以上に縮めて、「学校に来てもらったり、協力してもらったりして生徒のためにより良い環境づくりをしましょう」という制度です。共に協力して今まで以上の御勅使中にしていきましょう。

地震を想定した避難訓練

4月18日（金）に今年度最初の避難訓練を行いました。今回の避難訓練は南海トラフ地震を含む大規模な揺れの大きい地震を想定して行いました。1年生は、入学したばかりなので避難経路や集合場所の確認も行いました。生徒たちの意識も年々向上しており、3年生は、真っ先に避難し5分間で完了しました。実際に、防災頭巾を着用し、整然と行われました。避難訓練では生徒たちが自らの命を主体的に守ろうとする意識や友達の命を守ろうとする意識を持つことが大切です。いつ起こるかわからない災害に備え、今後もさらに意識を高めていってほしいと思います。次回は、6月9日保幼小中合同引き渡し訓練です。



◆家庭訪問、ご協力ありがとうございました◆

4月21日～24日まで4日間の日程で家庭訪問を実施しました。目的としては、保護者とゆっくり話ができること、家の場所を把握して周りの状況も確認することです。「学校での面談でもいいのではないか」という意見もありますが、先生が家を訪問する意味もきちんとあります。子どもたちの心身の安全を守り、保護者と協力して教育・保育をしていくために必要な家庭訪問。少し面倒に感じますが、理由があると納得感を感じられます。

新年度を迎えて1年生は全く新しい環境になり、2・3年生は学年がひとつ上がりクラスや担任の先生が変わる中で、生徒理解につなげるためにとてもよい機会となりました。家庭訪問では、生徒たちのご家庭での様子をうかがったり、学校での様子をお話したり、自宅の場所を確認したり、通学路の危険箇所を確認したりと多くの目的を達成することができ、とても有意義な4日間となりました。忙しい中、時間を作っていただき、本当にありがとうございました。

保護者の皆様と緊密に連携しながら今後も情報共有を行っていきたいと考えております。どんなことでも結構ですので、気軽にご相談ください。よろしく願いいたします。